

各位

2023年10月9日

原爆文学研究会事務局
〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1
福岡大学人文学部 中野和典研究室内
tel:092-871-6631 (代表) /e-mail:nakanok@fukuoka-u.ac.jp

第70回 原爆文学研究会のご案内

時下益々ご清栄のことと存じます。第70回原爆文学研究会を下記の要領で開催いたします。**今回は映像の著作権に関わる内容になるため対面形式のみでの研究会を開催します。**皆さまには、ご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

参加をご希望の方は**2023年11月30日(木)**までに右下の参加申込フォームからお申し込みください。

記

- 日時 2023年12月9日(土) 14:00より 10日(日) 10:00より
- 会場 【12月9日(土) 午後および12月10日(日) 午前の会場】
広島大学東千田未来創生センターM303講義室(広島市中区東千田町1-1-89) ※東広島市の「東広島キャンパス」ではなく、広島市の「東千田キャンパス」で開催しますので、ご注意ください。
【12月10日(日) 午後の会場】
合人社ウェンディひと・まちプラザ マルチメディアスタジオ北練6F(広島市中区袋町6-36)
- プログラム【12月9日(土)】
- | | | |
|-------|-------------------------------------------------------|----------------|
| 13:30 | 開場 | |
| 14:00 | 開会・自己紹介 | |
| 14:30 | ワークショップ①「記録からひらく表現」 | 司会 中尾 麻伊香 |
| 14:30 | 「死んでからもなお生きつづけること」 | 小林 エリカ |
| 15:20 | 「How to Keep it in the Body
——ヒロシマのアーカイブについて考える——」 | 福田 恵 |
| 16:15 | (休憩15分) | |
| 16:25 | コメント | 柿木 伸之
山本 昭宏 |
| 16:45 | 全体討論 | |
| 17:45 | 1日目終了 | |
| 18:30 | 懇親会 | |

- プログラム【12月10日(日)】
- | | | |
|-------|--------------------------------------------------|------------------------------------|
| 10:00 | ワークショップ②「翻訳がつなぐ経験——マーシャル、セミパラチンスク、広島——」 | 司会 川口 隆行
一谷 智子
溝淵 園子
李 文茹 |
| 12:00 | (休憩・移動120分) ※この時間に午後の会場「合人社ウェンディひと・まちプラザ」へ移動します。 | |
| 14:00 | 『寡婦たちの村』上映会&ピーター・ブロウ監督トーク | 司会 松永 京子 |
| 14:00 | 映画『寡婦たちの村』上映 | |
| 15:00 | 監督によるトーク | ピーター・ブロウ |
| 16:30 | 2日目終了 | |

- 共催 広島大学総合科学推進プロジェクト「核・原爆にまつわる表現の探究」
広島大学人間社会科学研究科ひろしま「平和研究」イニシアティブ
JSPS科研費基盤研究(B)「環太平洋圏における核と原爆をめぐる想像力と植民地主義の研究」
JSPS科研費基盤研究(C)「殖民暴力とディコロナイゼーションから考える平和学」

【12月9日午後】 ワークショップ①「記録からひらく表現」 趣意文

核や原爆の歴史をめぐって、私たちは残された記録から想像や解釈を行い、その意味を現代に問うています。小林エリカさんは、マリ・キュリーの手記などを繙きながら、核の歴史を目にみえないものや個人史として紡ぎ直し、漫画や小説をはじめさまざまな手法で表現されてきました。環境をテーマにインスタレーション作品を制作してこられた福田恵さんは、お祖父様が8月6日について書き残した手記をもとに、家族4世代の物語として構成した映像作品を今年制作されました。本ワークショップではお二人の表現活動から、記録や記憶と向き合い、表現していくことの可能性について考えていきます。

【12月10日午前】 ワークショップ②「翻訳がつなぐ経験——マーシャル、セミパラチンスク、広島——」 趣意文

核や原爆にかかわる文学は、翻訳という実践によって言語圏の壁を越えて読まれてきました。それは異なる地域や世代の経験と自分たちとのつながり、あるいは断絶の発見の軌跡でもあります。一谷智子さんは、キャシー・ジェットニル=キジナー『開かれたかご マーシャル諸島の浜辺から』(みすず書房、2023)の翻訳者です。溝淵園子さんは、セミパラチンスク核実験場にまつわるロラン・セイセンバエフの作品の翻訳に取り組んでいます。李文茹さんは、峠三吉『原爆詩集』の繁体字中国語版(逗点文創結社、2023)の監訳者です。本ワークショップでは、翻訳の現場に立たれた三人の経験を介して、翻訳の可能性と難しさについて考えていきます。

【12月10日午後】 『寡婦たちの村』上映会&ピーター・ブロウ監督トーク」 紹介

1999年にカナダで初上映された『寡婦たちの村』は、先住民族サーツ・デネとカナダ北西準州のウラン鉱山の歴史に光を当てたドキュメンタリー映画です。日本初の上映会となる今回は、ピーター・ブロウ監督を迎えて、作品の背景や現在の状況などについてお話をさせていただきます。

一般にも公開しますので、参加ご希望の方は下記の申し込みフォームへアクセスし、参加者登録をお願いします。
【締切: 2023年12月3日(日) (先着順・要申込・無料)】
*上映中の途中入場はできません。

第70回原爆文学研究会参加申込フォーム

・12月 9日午前および10日午前 <https://forms.gle/JHBt5XjXXzHuyGHFA> (締切11月30日)

・12月10日午後 <https://forms.gle/L928c7jfVHxhYVeP9> (締切12月3日)

※それぞれの会場に人数制限があるため、2つのフォームに分けて参加を受け付けています。

会場のご案内

【12月9日（土）午後および12月10日（日）午前の会場】

広島大学東千田未来創生センターM303講義室
（広島市中区東千田町1-1-89）

【主な交通手段】※自家用車での来場はご遠慮ください。

○バスをご利用の方…広島駅(中央口)→新幹線口バス乗り場(1番のりば)広電バス、広島バス、広交バス（まちのわループ左回り）八丁堀・日赤病院・大学病院・広島駅方面→「日赤病院前」下車→徒歩3分

○市内電車をご利用の方…広島駅(中央出口)→市内電車乗り場(広電1番広島港行き)→「日赤病院前」下車→徒歩2分

○広島空港をご利用の方…広島空港→広島空港リムジンバス→広島駅新幹線口行き→J R広島駅（※以下、上記バスまたは市内電車利用参照）

※詳細は下記のページをご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/sendai>



【12月10日（日）午後の会場】

合人社ウェンディひと・まちプラザ マルチメディアスタジオ北練6F（広島市中区袋町6-36）



【主な交通手段】

- バスをご利用の方…「袋町」バス停（広電・広島バス）から徒歩約3分
「放送会館前」バス停（広島バス）から徒歩約6分
「広島バスセンター」から徒歩約9分
- 市内電車をご利用の方…「袋町」電停から徒歩約3分
「紙屋町東」電停から徒歩約6分

※詳細は下記のページをご覧ください。

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/kotsu.html>



[広島大学東千田キャンパスマップ](#)

【主な交